

古き良き文化が残るデンマークのライフスタイル

日本とデンマークの友好の歴史を振り返り、両国関係をさらに発展させるため、さまざまな記念行事が開催されています。10月に東京・豊洲で行われる記念イベント「日本×デンマーク 外交関係樹立150周年記念 DENMARK フェス&ウォーカーソン」に先立って、デンマークをより身近に感じられるトピックスを連載で紹介いたします。第2回はデンマークのライフスタイルについて、デンマークに縁の深いモデルの岡田美里さんにお話をお聞きました。



自分も周囲も心地よく暮らすことが「世界で一番幸せな国」の原点。



デンマークの生活風景(撮影/岡田和雄)



デンマークの人々は、時間にきちんとしていて恥ずかしがり屋、身をつけるものも控えめで、「質実剛健」という日本の精神に通じる部分がたくさんあります。そんな彼らの暮らしには、一年の大半が寒く、日照時間が短いことに起因する特徴があります。例えば朝日が差し込むことはまれなので、暖かな夕陽をとりこむように家を建てたり、家の中で過ごす時間が多いため、快適に読書や手芸をするための照明計画を立てたり。



オーレ・ムルスコウ・ベック ノボ・ノルディスク ファーマ株式会社代表取締役社長。1985年コペンハーゲン大学医学部を卒業、スウェーデン国際経営研究所で経営学修士(MBA)を取得。2016年より現職。

健康でより良い生活のために ノボ・ノルディスクは糖尿病治療のバイオテックとして、90年以上にわたり糖尿病の研究と治療法の開発に取り組んでいます。これまでに培ってきた技術とノウハウは、今や世界最高水準にあると言えます。また糖尿病以外にも、血友病、成長障害などの慢性的な疾患を克服するための専門的な知識や能力を有し、イノベーションを創出し続けています。今後も持続可能な事業活動によって、糖尿病などの慢性疾患の人々がより健康で幸せな生活を送ることができるよう貢献していくことが、私たちのコミットメントです。

デンマークは高齢社会のお手本となる国 25%の消費税など、デンマークでは高い税制が敷かれていますが、誰もがそのことに納得しているように感じます。国に納める税金は「自分たちが守られるためのもの」という意識を持っており、その言葉どおり、学校や病院にはお金がかかりません。「世界で一番幸せな国」と称されるのも、将来への不安のなさが人々の幸福感につながっている結果だと思えます。また高い税金を納めるために共働き家庭がほとんどですが、それ故に、男女平等の社会が構築されています。

子どもが熱を出した時には、夫婦が交代で会社を休むことも珍しくありません。デンマークは1975年に高齢化社会を迎えており、日本が直面している問題に先んじてさまざまな対策をとっています。その中のひとつが「エイジング・イン・プレイス」という考え方で、住み慣れた家で最期を迎えるための医療や福祉が充実しています。日本と共通するところが多い国だからこそ、この分野でもデンマークから学ぶことはたくさんあると思います。



岡田美里

MILLIE OKADA おかだ・みり 東松島ステッチ・ガールズ代表、日本・デンマーク国交樹立150周年親善大使、デンマーク人の祖母を持ち、デンマーク企業のブランドアドバイザーとしても活躍、デンマーク刺繍(しゅう)の指導者でもある。

日本×デンマーク 外交関係樹立150周年記念 DENMARK フェス&ウォーカーソン 世界で一番 幸せな国を感じる 北欧デンマークのフェスを楽しもう!

日本とデンマークの外交関係樹立150周年を記念して「世界で一番幸せな国」デンマークのライフスタイルを感じる2日間のフェスを開催します。コペンハーゲンの街並みが再現された豊洲で、幸せなひとときを過ごしてみませんか。
<http://jp.ecco.com/denmark150.html>

10.7 SAT - 8 SUN 参加無料 豊洲公園 江東区豊洲2-3-6

●アクセス: 東京メトロ有楽町線豊洲駅から徒歩約3分 / ゆりかもめ豊洲駅から徒歩約2分



- キッズ向けウォーカーソン(1~6歳までのお子様対象)
 - デンマークマーケット (関連企業によるフードやドリンク、雑貨など多数出展)
 - トークショー、デンマークアーティストのコンサートなど満載のエンターテインメント
 - 血糖値の測定コーナー
 - 障がい者スポーツ「アンブティサッカー」体験
- 主催: 日本×デンマーク 外交関係樹立150周年記念 DENMARK フェス&ウォーカーソン実行委員会(エコー・ジャパン、ノボ・ノルディスク ファーマ、朝日新聞社) / 後援: デンマーク王国大使館、在日デンマーク商工会議所、外務省、東京都、江東区 / 運営協力: 一般社団法人日本ウォーキング協会



糖尿病を克服する

糖尿病とともに生きる人たちが、
もっと自分らしく、ずっと笑顔でくらすように。
私たちはこれからも、
糖尿病に関わるすべての人たちを支え続けます。
いつか、糖尿病を完治する治療法ができる、
その日を信じて。

ノボ・ノルディスク ファーマ株式会社



大原 慎人(おおはら ますと) 神奈川県在住(1型糖尿病)